学校番号	T1202

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	食文化と歴史	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作教材・プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の食文化がどのようにして成立したのかを、気候や風土、政治や宗教などと関連して学習する。
・視覚教材を多く活用し、それぞれの時代の食文化について生徒が理解しやすいよう努める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・私たちの食文化がどのように成立してきたのかを理解し、諸資料から食文化に関する情報を効果的に調べる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・食文化の成立について、食生活の変遷と社会の変化の関連を基に考察し、自らの考えを適切に表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・自分が興味を持った日本の食べ物について調べるなど、主体的に食文化に関する学習を行うことで、様々な時代の食文化への関心を高め、自ら学ぶ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の各時代の食文化について理解するとともに、資料から食文化に関する情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。	日本の食文化がどのように成立したのかを、時代背景や気候や風土などに着目して考察し、自らの考えを適切に表現している。	日本の食文化に関心をもち、各時代の食文化の成立について意欲的に学習しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間(後期中間)	原始・古代の食文化	・縄文時代の食文化 ・弥生時代の食文化 ・古墳時代の食文化 ・奈良時代の食文化 ・平安時代の食文化	a:原始・古代の食文化の特色についての知識を身に付けている。 b:原始・古代の食文化がどのように成立したのかを考察し、この時代の食文化について、自らの考えを表現している。 c:原始・古代の食文化について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題プリント 発表	授業観察 振り返りプリント
	中世の食文化	・鎌倉時代の食文化 ・室町時代の食文化	a:中世の食文化の特色についての知識を身に付けている。 b:中世の食文化がどのように成立したのかを考察し、この時代の食文化について、自らの考えを表現している。 c:中世の食文化について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題プリント 発表	授業観察 振り返りプリント
前期期末(後期期末)	近世の食文化	・安土桃山時代の食文化 ・江戸時代の食文化	a:近世の食文化の特色についての知識を身に付けている。 b:近世の食文化がどのように成立したのかを考察し、この時代の食文化について、自らの考えを表現している。 c:近世の食文化について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題プリント 発表	授業観察 振り返りプリント
	近現代の食文化	・明治時代の食文化 ・大正時代の食文化 ・昭和時代の食文化	a:近現代の食文化の特色についての知識を身に付けている。 b:近現代の食文化がどのように成立したのかを考察し、この時代の食文化について、自らの考えを表現している。 c:近現代の食文化について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題プリント 発表	授業観察 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度